

# PRIME GEAR取扱説明

この度は Ovaltone の製品をお買い上げ頂き、ありがとうございます。  
製品を快適にお使い頂く為に、この取扱説明書を良くお読み下さい。

## 使用上の注意点(重要!)

**※本機の電源には安定化済み AC アダプタ(DC9V、センターマイナス) あるいは 9V 乾電池を使用してください。非安定化アダプタなどを使用するとノイズや故障の原因になる場合があります。**

※使用、保存される場所は高温、多湿、ほこり、水を避けて下さい。故障、火災、感電の原因になる場合があります。

※製品を分解、改造しないで下さい。火災、感電の原因になる場合があります。また、音質や音色が損なわれる可能性があります。

※ACアダプターを使用される際は、次の事柄に注意してください。火災、感電の原因になる場合があります。

- ・指定の規格(入力:AC100V 50/60Hz、出力:DC9V、センターマイナス、2.1mm)に合ったものをご使用下さい。
- ・ACアダプタの放熱に十分注意して下さい。
- ・濡れた手で抜き差ししないで下さい。
- ・コンセントから抜くときはコード部を引っ張らず、本体を持って抜いて下さい。
- ・長期間使用しないときはACアダプターを抜いて置いて下さい。
- ・コンセントの指し口に、ほこりを溜めないで下さい。

※分岐式の電源供給器(パワーサプライ)を使用される際は、次の事柄に注意してください。

故障の原因になる場合があります

- ・使用するエフェクターの消費電流の合計が、電源供給器(パワーサプライ)の供給可能な消費電流量を上回らないようにして下さい。消費電流に余裕のあるものをお使い下さい。
- ・センターマイナスのものをお使い下さい。
- ・電源供給器(パワーサプライ)がオンの状態で、既に1つ以上のエフェクターに接続されている場合、パワーサプライケーブルのプラグの外側の金属部分をエフェクターの金属ケース(外装)に接触させないで下さい。一度電源供給器(パワーサプライ)をオフにしてから接続して下さい。

※使用しない時はINPUTジャックからプラグを抜いて下さい。電池の消耗を抑える事が出来ます。また、長期間使用しない場合は液漏れを防ぐ為、電池を抜いて下さい。

※電池のプラスとマイナスを間違えないで下さい。故障、液漏れの原因になる場合があります。

※製品を落としたり、無理な力を加えないで下さい。故障の原因になる場合があります。

## ■特徴■

PRIME GEAR はユニークなバッファを搭載したジャンクションボックスです。  
バッファは先頭に配置し、ボードアウトはハードワイヤーバイパスとなっています。

バッファ部はディスクリート構成で、自然なサウンドを基調にスイッチによって音色の微調整が可能です。  
スイッチは入カインピーダンス切り替えスイッチと、高域をすこし持ち上げる Bright スイッチを搭載しています。

## ■電源■

安定化済みの AC アダプタまたはパワーサプライ(DC9V、センターマイナス、2.1mm)

## ■消費電流■

約 3mA (DC9V)

## ■フォンジャック■

- (1) バッファ側入力ジャック
- (2) バッファ側出力ジャック
- (3) (4) スルー側ジャック/ 内部は配線で繋がっている

のみの構造です。

ジャンクションボックスのアウトとしてお使い下さい。

## ■1meg / 5meg / curved■

バッファ側の入カインピーダンスを切り替えます。

ギターのピックアップの音はそれ自身で決まっているのではなく、次に繋がる機器とのコンビネーションでそもそもの入力される信号の形が決まっています。その性質を利用して、音色の調整を行うスイッチです。

【1M】はエフェクターや楽器機材にとって一般的な値です。

【5M】はアコースティックギターや、ベースなど、より信号をとりこぼさずに繊細な表現が必要な楽器機材に採用されることが多い値です。

通常の 1M よりもワイドレンジな音色になります。

【curved】は一般的な真空管ギターアンプの入力部のインピーダンスを模した値で、周波数によって異なるカーブしたインピーダンスを持ったモードです。

ハイが少し丸くなり、肩の力が抜けたような滑らかな手ごたえが得られます。

真空管アンプそのものの音をシミュレートするものではありませんが、ピックアップ側から見た時に消費される電流の環境をシミュレートすることでピックアップにとって最もベーシックな環境の音色を取り戻すことができます。

## ■Bright on / off■

オンにすると少しだけ高音域が持ち上がり、明るい音色が得られます。

## ■CONNECT / DISCONNECT■

バッファ側のグラウンドとスルー側のグラウンドを CONNECT(接続)するか DISCONNECT(分離)するかを選択します。

通常は DISCONNECT で問題ないと思われますが、状況によっては CONNECT のほうがノイズが少ない場合があります。

## ■サイズ■

77(W)x114(D)x64(H)mm

## ■重量■

約 230g

